

総合的な学習の時間指導案

平成19年11月28日(水) 6校時
沖縄市立北美小学校 5年1組
38人(男子16人 女子22人)
授業者 高谷 啓祐

1 題材名 メールって便利だね。でもマナーも大切

2 学習目標

○電子メールは、いつでもすぐに届けることのできる手紙であることを知り、相手に気持ちよく読んでもらうためのマナーがわかる。

3 題材について

(1) 教材観

この題材は、今年度沖縄市内の小中学校に導入されたソフト「事例で学ぶ Net モラル」の中の題材の一つである。「事例で学ぶ Net モラル」は Web からのダウンロード、CD-ROM、ビデオでも進めることができる。内容は、情報安全・責任ある情報発信・健全な情報社会の形成の3領域に分かれており、それぞれ領域ごとに各学年にあわせた事例が題材となっている。

本題材の内容は、携帯電話でのメールを扱っている。個人用の携帯の保有率は低いが、携帯電話や電子メールへの興味関心は高い。今後6年・中学と進学するにつれ携帯電話の保有率も上昇することが見込まれ、また、クラス内での友達関係・言葉遣いなどの実態から、電子メールでのマナー指導の必要性を感じ、本題材を設定した。

(2) 児童観

これまで、隔週1回のコンピュータ室の時間を活用し、基本操作から文字入力を取り組んできた。特に文字入力では「キーボー島」(キーボード入力 web サイト)を活用し、児童のスキルも向上してきた。スピードに差はあるものの、全ての児童がローマ字での文字入力ができる。また、ほとんどの子がインターネットでの検索もでき、調べ学習などで活用している。

アンケートの結果より (5-1 児童38名)

パソコンの家庭普及率	66%
携帯電話(個人用)の保有率	11%
電子メール活用(経験)率	77%
携帯電話がほしい	77%
携帯電話でやりたいこと やっていること(複数回答)	メール、ゲーム、音楽、電話、写真
パソコン室での授業で一番楽しかったもの	キーボー島、ネット検索(調べ学習)、発表名人

半数以上の家庭にパソコンがある。携帯への興味関心も高く、メールも多くの子が経験しており、マナーの指導は重要である。また、普段の学校生活の場面でも、言葉遣いによるトラブルがよくあるので、メールのマナーと合わせて普段の言葉遣いも振り返らせて指導したい。

4 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・電子メールは、いつでもすぐに届けることのできる手紙であることを知り、相手に気持ちよく読んでもらうためのマナーがわかる。

(2) 授業仮説

- ・メールの使い方について話し合う場において、映像クリップでネットモラルの具体的な事例を示すことで、メールのよさや、気をつけなければならないことに気付き、メールの使い方のルールやマナーがわかるであろう。

(3) 準備 ワークシート

(4) 本時の展開

	学習活動	指導の留意点・個への対応	情報機器の活用	評価
導入	1 キーボー島を取り組む 2 本時のめあてを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 電子メールの使い方のルールやマナーについて考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使ってめあてを確認する。 ・メールに関する質問をし、メールについての学習であることを知らせる。 (アンケート結果) 	◇パソコン ・インターネット ・キーボー島 (Web) ◇パソコン ◇プロジェクター ・スカイメニュー ・パワーポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認することができたか。 ・話をしっかりと聞けるか <p style="text-align: right;">【関】</p>
展開	3 あいの母親のつづやきについて話し合う。 4 あいとまゆのやりとりについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・映像クリップ①を見せ、メールで気をつけなければならないことをワークシートに書かせる。(ワークシート) ・何名かに発表させ、自分たちの活用の様子を振り返らせる。 ・映像クリップ②を見せ、二人の気持ちをワークシートに書かせる。 ・何名かに発表させ、二人の問題点について話し合わせる。 ・見つけられない児童には視点を与える。 ◇時間 ◇ことば遣い ◇内容 	◇パソコン ◇プロジェクター ・スカイメニュー ・事例で学ぶ Netモラル ・パワーポイント ・ワード	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに考えを書きことができるか。 【考】 ・自分の考えを発表することができるか。 【関】 ・ワークシートに考えを書きことができるか。 【考】 ・自分の考えを発表することができるか。 【関】

ま と め	5 メールで気をつけること をまとめ、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの映像クリップ を見せ、メールの注意 点をワークシートにま とめさせる。 ◇時間 ◇ことば遣い ◇内容 ・何名かに発表させ、み んなで確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇パソコン ◇プロジェクター ・スカイメニュー ・ワード 	<ul style="list-style-type: none"> ・メールの注意点 をワークシ ートに書くこ とができ たか。 <p style="text-align: center;">【理】</p>
-------------	-----------------------------	---	---	--

5 評価

- ・電子メールのよさや気をつけなければならないことを知ることができたか。(発表・ワークシート)
- ・電子メールを使う時のルールやマナーが理解できたか。(発表・ワークシート)

6 授業研究会より(北美小学校 図書室)

授業者反省

- ・新しく導入されたソフト「事例で学ぶ Net モラル」の実践事例の提案として取り組んだ。
- ・児童にとって身近な題材だったので、興味関心も高く、意欲的に取り組んでいた。
- ・情報機器の操作を事前に確認していたので、スムーズに進めることができた。
- ・マイクを効果的に使うことができた(マイクを使うところ、使わないところを意識して進めた)
- ・教材をスクリーンに映すのか、各端末に映すのか、両方に映すのかの判断が難しかった。

感想・意見

- ・児童のコンピュータ室でのマナーがよくできていて、話をしっかりと聞いていた。
- ・中学になると、携帯電話の保有率が上がってくるので、小学校のうちからこのようなメールなどの題材を取り上げてやっておくのは大切。
- ・あいだけでなく、まゆの気持ちや立場(二人のよくないところ)を考えさせていたのでよかった。
- ・児童の発言を、すぐに打ち込んで画面上に表示していた方法はわかりやすかった。ワードを活用していたが、パワーポイントを使うと、もっと見やすくなる。
- ・学習規律が徹底されていた。
- ・相手の立場を考えさせるのはよかった。
- ・学習内容を自分達の日常に返すのはよかった。道徳の授業としてもよいのでは。